



高温疲労試験

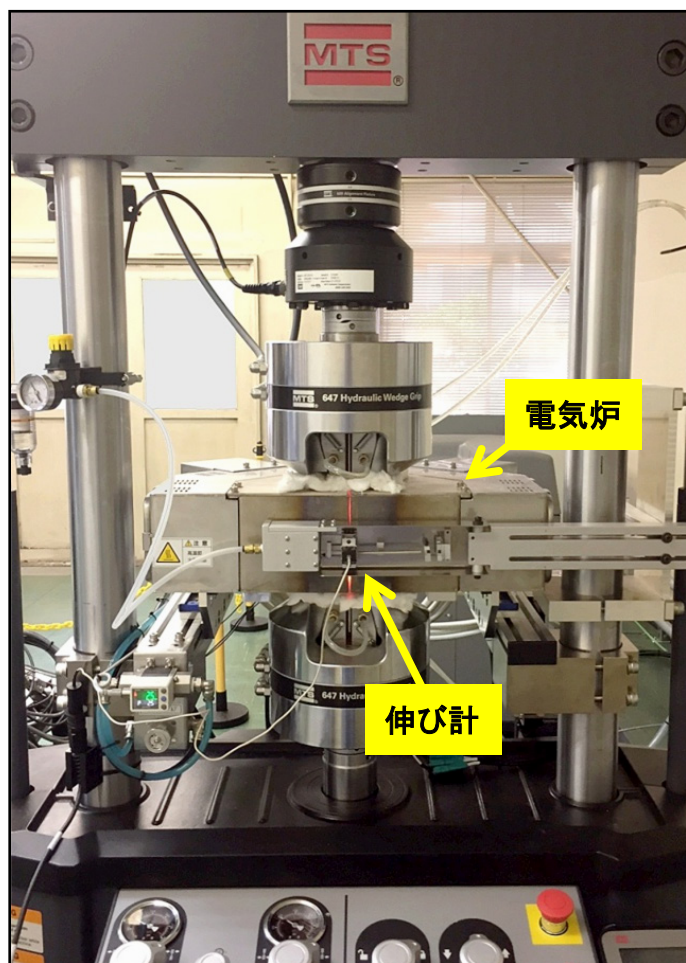
炉温の安定性に優れた電気炉を用いた高温疲労試験を実施いたします。

試験の概要

貴重な材料や、採取可能位置が限られている実機から採取した全長の短い試験片の高温疲労試験を実施できます。低サイクル疲労試験では応力-ひずみ線図(ヒステリシスループ)、高サイクル疲労試験ではS-N線図を採取可能です。

試験機的主要仕様

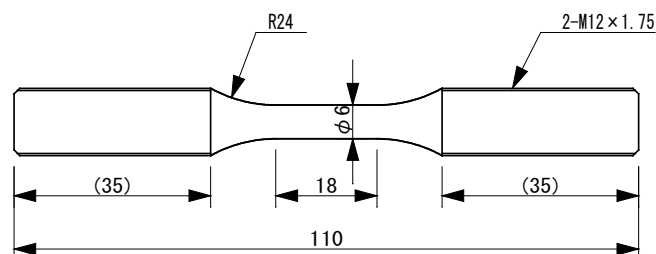
- 試験機: MTS社製 油圧サーボ疲労試験機
- 負荷容量: ± 100 kN(炉外で試験片をつかむため、高温下でも試験力は落ちません)
- 最大ストローク: ± 75 mm
- 試験温度: 300 °C \sim 1200 °C(800°C以上は別途ご相談)
- 加熱方法: 電気炉(上記温度範囲において ± 3 °C以内に制御)
- 試験片形状: 標点12 mm、丸棒試験片(右下図)
- 適用材料: 金属材料(セラミックス溶射材なども含む)



試験状況



試験片取り付け状況



標準試験片形状
(ネジ部、試験部の径は変更可能です)